

平成24年度

備前市 行政評価システム

海とみどりと炎のまち

～ひとが元気、笑顔あふれる～

平成25年3月

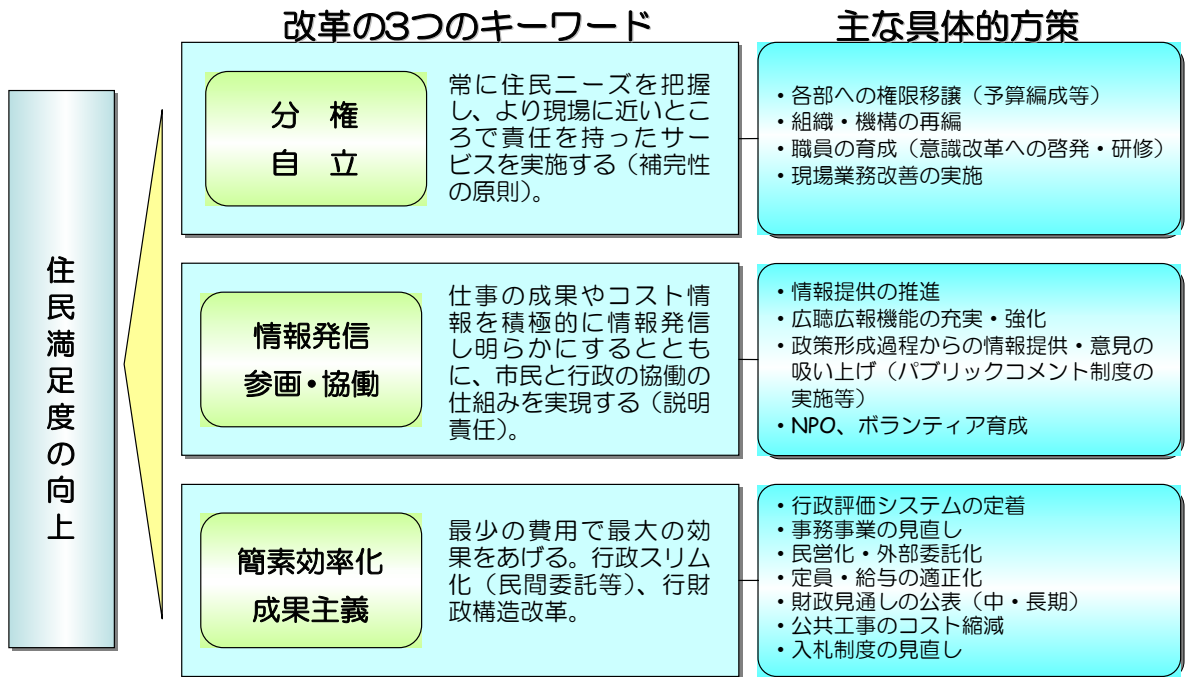
目 次

| | |
|-------------------|----|
| 第1. 備前市における行財政改革 | 1 |
| 1. 改革の3つのキーワード | 1 |
| 2. 行政評価導入の目的 | 1 |
| 第2. 備前市の取り組み | 2 |
| 1. 行政評価システム推進体制 | 4 |
| 2. 行政評価システム研究会 | 5 |
| 3. 職員啓発など | 5 |
| 4. まちづくり市民講座 | 5 |
| 第3. 事務事業評価の結果 | 6 |
| 1. 総合評価 | 6 |
| 2. 今後の方向性 | 7 |
| 第4. 施策評価の結果 | 8 |
| 1. 施策評価の対象について | 8 |
| 2. 成果指標の設定について | 10 |
| 3. 政策体系別事業費 | 16 |
| 4. 施策の評価結果 | 18 |
| 5. 行政評価を活用した今後の展開 | 22 |

第1. 備前市における行財政改革

1. 改革の3つのキーワード

財政状況が非常に厳しい中、備前市においては行財政改革に向けて、3つのキーワードを設定し、以下のような具体的方策により推進していくこととしている。



2. 行政評価導入の目的

上記を受けて、備前市においては、以下の目的により行政評価システムの導入を図っている。

(1) 仕事の成果やコストの情報を説明する責任の一層の向上

市が行う仕事の成果やコストの情報などをわかりやすく積極的に公表することで、市役所の透明性を高めるとともに情報の共有化を図る。

(2) 職員の意識改革と政策形成能力の向上

職員一人ひとりが、仕事の目的やコスト・成果を認識し、常に改善意識を持てるように意識改革を図る。

(3) 効率的・効果的な行政運営

限られた財源や人員などの資源を効率的に配分し、行政運営を行う。また、成果志向を浸透させることで、事業の統廃合を含め、事業費の削減を図る。

(4) 総合計画の進捗管理

第2. 備前市の取り組み

| 年 度 | 今までの取り組み |
|--------|---|
| 平成13年度 | モデル事業評価(30事業) |
| 平成14年度 | モデル事業評価(54事業 全係1事業) |
| 平成15年度 | 全事務事業評価(249事業) 施策評価の研究 |
| 平成16年度 | 全事務事業評価(275事業) 施策評価試行(40施策) |
| 平成17年度 | 旧備前市分全事務事業評価(285事業) + 旧町分モデル事業評価(75事業) 旧備前市分施策評価(75施策) |
| 平成18年度 | 全事務事業評価(497事業)、市民意識調査(3,000人) 全施策一次・二次評価(91施策) |
| 平成19年度 | 全事務事業評価(485事業)、市民意識調査(2,000人)、業務量報告 全施策一次・二次評価(92施策)、備前市の組織及びその任務に関する条例制定 |
| 平成20年度 | 全事務事業評価(440事業)、市民意識調査(2,000人) 全施策一次・二次評価(91施策)、新規事業事前評価(8事業)、業務量報告 |
| 平成21年度 | 全事務事業評価(425事業)、施設評価(142施設)、市民意識調査(2,000人) 全施策一次・二次評価(91施策)、新規事業事前評価(6事業)、業務量報告 |
| 平成22年度 | 全事務事業評価(424事業)、施設評価(144施設)、市民意識調査(2,000人) 全施策一次・二次評価(91施策)、新規事業事前評価(4事業)、業務量報告 |
| 平成23年度 | 全事務事業評価(401事業)、施設評価(144施設)、市民意識調査(2,000人) 全施策一次・二次評価(91施策)、新規事業事前評価(9事業)、業務量報告 |

平成24年度

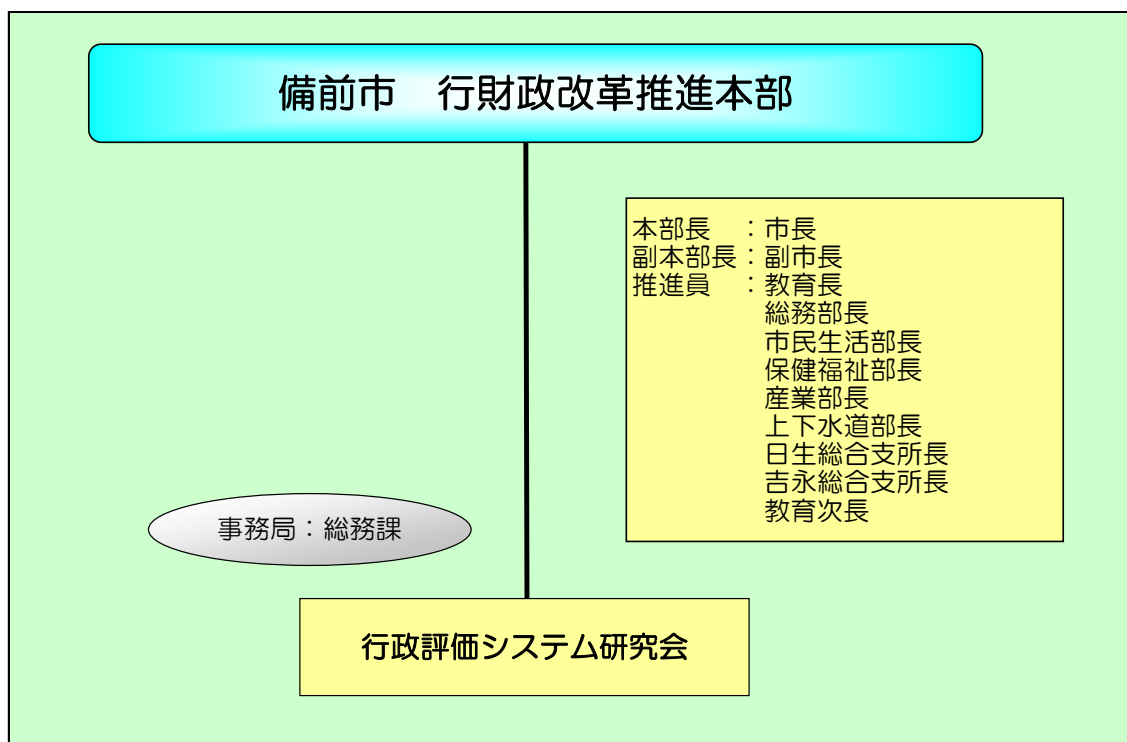
- 4月～6月 市民意識調査(2,000人)
- 5月～6月 事務事業評価 390事業 施設評価 142施設
- 7月 施策評価(所属長評価 91施策) 新規事業事前評価(8事業)
- 8月 施策二次評価(部長等による)
- 9月 施策評価シートを議会に提出(決算認定の参考資料)
- 11月～ 次年度予算(事前評価等を含め評価結果を予算編成に活用)

今年度の作業スケジュールの概要は以下のとおりである。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------------|---------------------------------------|-------------------------------------|---|--|---|---------------------------------|------------------------------|---|------------------------------|---|--------------------|---|
| 行政評価 | 3/21 ~4/20 作事 務事 業体 系表 | 4/26 4/27 研事 務事 業評 価 | 4/28~6/8 事務事業評価 施設評価 | | 6/29 施策評価 研修会 | 6/30~7/25 施策評価 (一次) | 8/2 8/3 ヘル プデ スク | 8/9 ~8/23 施策評価 (二次) | 9/13 議評 価シ ート 提出 | 予算 編成 方針 当初予算要求 (行政評価システムを活用 した要求) | | |
| まちづくり 市民講座 | | | 6/1 ~6/15 受講生 募集 | | 8/28 ~9/12 受講生再募集 (前2名しか 応募がなかつた ため) | 9/27 第1回 講座 | 10/11 第2回 講座 | 10/25 第3回 講座 | 11/8 第4回 講座 | 11/22 第5回 講座 | | |
| 行政評価システム 研究会 | 4/1 ~4/15 庁内 研究会 委員 公募 | | 5/25 第1回 研究会 | | | | | | 12/19 第2回 研究会 | | 2/15 第3回 研究会 | |
| その他 | | 4/20~5/7 市民 意識 調査 | 5/18~6/15 行政 改革 財政 状況 ブレ ン ス 調 査 | 7/4 ~7/20 作業 第1回 状況 フロ ー 調 査 | 8/27 行政 経営 研 修 会 | 8/28 行政 経営 研 修 会 | | 10/31 ~11/22 作業 第2回 状況 フロ ー 調 査 | | 1/15 公 会 計 研 修 会 | | 2/22 ~3/21 作業 第3回 状況 フロ ー 調 査 |
| | 職員提案随時募集 | | | | | | | | | | | |

1. 行政評価システム推進体制

平成17年7月に制定された「備前市行財政改革推進本部設置規程（訓令第84号）」で、備前市行財政改革推進本部（以下、「推進本部」という。）の下に、「行政評価システム研究会」（以下、「研究会」という。）を位置づけ、研究会での審議・決定事項が、推進本部で承認されることにより、全庁的にオーソライズされることとなっている。



また、今年度の研究会委員は以下のとおりである。（H25.3 現在）

| 所 属 | | 氏 名 |
|---------|----------|-----------|
| 総務部 | 総務課 | 高 橋 清 隆 |
| | 企画課 | 中 野 新 吾 |
| | 企画課 | 吉 田 祐 介 |
| | 財政課 | 小 橋 智 裕 |
| | 財政課 | 竹 林 伊 久 磨 |
| | 税務課 | 草 加 浩 一 |
| 保健福祉部 | 介護福祉課 | 佐 藤 公 俊 |
| 産業部 | 農林水産課 | 濱 山 一 泰 |
| 上下水道部 | 水道課 | 梶 藤 勲 |
| 教育委員会 | 学校教育課 | 石 原 史 章 |
| 出納室 | | 春 森 弘 晃 |
| 選挙管理委員会 | | 長 井 晃 彦 |
| 監査事務局 | | 神 田 順 平 |
| 主 宰 | 総務課長 | 藤 原 一 徳 |
| 事務局 | 総務課行政改革係 | 山 本 啓 之 |
| | | 馬 場 敬 士 |

2. 行政評価システム研究会

| 開催日 | 回数 | 摘要 |
|--------|-----|---|
| 5月25日 | 第1回 | <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度行政評価スケジュールについて まちづくり市民講座について 職員研修会について |
| 12月19日 | 第2回 | <ul style="list-style-type: none"> まちづくり市民講座・職員研修会実施報告 業務フロー作成状況調査について 職員提案の現況について |
| 2月15日 | 第3回 | <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度行政評価シートについて 職員提案制度の見直しについて 平成25年度市民意識調査について |

3. 職員啓発など

| 開催日 | 内容 | 摘要 |
|--------------|--------------------|--|
| 4月26日 27日 | 事務事業評価研修 (4回開催) | 対象：係長 備前市における行政評価の導入目的、目標管理や業務管理との連携、事務事業評価の作成要領等について |
| 6月29日 | 施策評価研修 (2回開催) | 対象：所属長 本市を取り巻く非常に厳しい現状の再認識、行政評価システムの果たす役割、備前市の行政評価システム、施策評価と事務事業評価の関係、施策評価を実施する際の留意点、市民意識調査結果の活用方法などについて |
| 8月2日 3日 | 施策二次評価 ヘルプデスク | 対象：副市長、各部長、教育次長 備前市の行政評価システム、施策二次評価を実施する際の留意点などについて、サンプリング(ヘルプデスク)により作成支援 【講師】監査法人トーマツ 世羅 徹 |
| 8月28日 | 行政経営研修 | 対象：庁議メンバー及び7・8級職員、希望者 「行政経営と行政評価の活用～内部統制と業務改善運動～」についての講義 【講師】関西学院大学経営戦略研究科長 英国バーミンガム大学公共政策学部客員教授 石原俊彦 |
| 1月15日 | 公会計研修 | 対象：2・3級職員、希望者 「新地方公会計制度入門～公会計の基礎～」についての講義 【講師】監査法人トーマツ 公認会計士 木戸 裕子 |

4. まちづくり市民講座 受講生：7名（公募）

| 開催日 | 回数 | 摘要 |
|--------|-----|---------------------|
| 9月27日 | 第1回 | 行政評価とは |
| 10月11日 | 第2回 | 事務事業評価シートの検証(1) |
| 10月25日 | 第3回 | 事務事業評価シートの検証(2) |
| 11月8日 | 第4回 | 施策評価シートの検証(1) |
| 11月22日 | 第5回 | 施策評価シートの検証(2)、とりまとめ |

第3. 事務事業評価の結果

全事業評価結果（390 事業）は以下のとおりである。

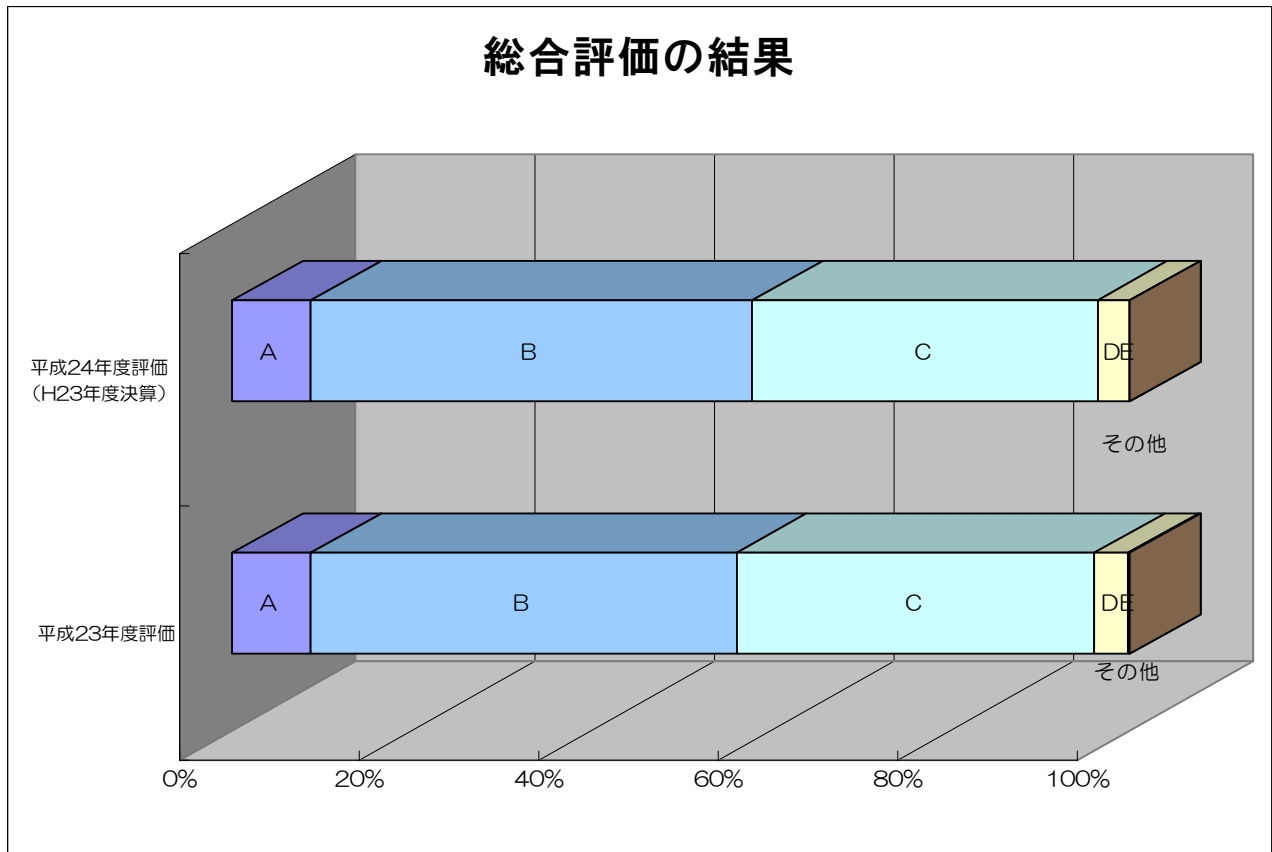
1. 総合評価

平成 24 年度評価（平成 23 年度決算分）は前年度と比較して、ほとんど変わっていない。

総合評価の結果

5段階評価のランク基準 A：高い B：やや高い C：普通 D：やや低い E：低い

| 項目 | | A | B | C | D | E | その他 |
|---------------------|-----|------|-------|-------|------|------|------|
| 平成24年度 (H23年度決算) | 事業数 | 34事業 | 192事業 | 150事業 | 14事業 | 0事業 | 0事業 |
| | 構成比 | 8.7% | 49.2% | 38.5% | 3.6% | 0.0% | 0.0% |
| (参考) 平成23年度構成比 | | 8.7% | 47.4% | 39.9% | 3.7% | 0.2% | 0.0% |



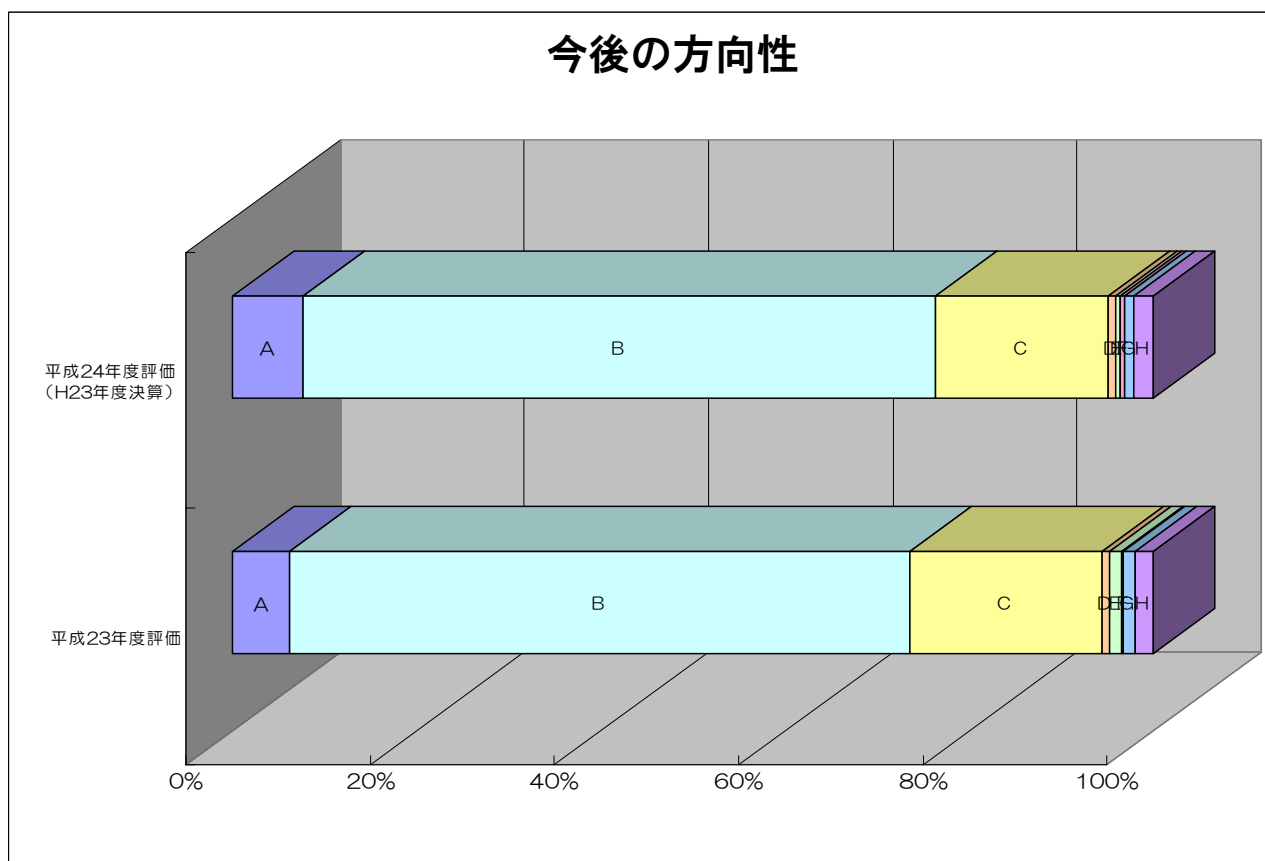
2. 今後の方向性

平成24年度評価（平成23年度決算分）は前年度と比較して、「現状継続」の割合がやや増加している。

今後の方向性

| 項目 | | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 | その他 |
|---------------------|-----|------|-------|-------|------|------|------|-------|------|
| | | A | B | C | D | E | F | G | H |
| 平成24年度 (H23年度決算) | 事業数 | 30事業 | 268事業 | 72事業 | 4事業 | 2事業 | 2事業 | 4事業 | 8事業 |
| | 構成比 | 7.7% | 68.7% | 18.5% | 1.0% | 0.5% | 0.5% | 1.0% | 2.1% |
| （参考）平成23年度構成比 | | 6.8% | 64.2% | 21.9% | 1.4% | 0.2% | 0.7% | 2.6% | 2.1% |

構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。



第4. 施策評価の結果

1. 施策評価の対象について

施策評価は備前市総合計画における事業体系表をもとに、「施策」に該当するレベルを対象に行った。総合計画における事業体系と評価対象施策、担当課は以下の表のとおりである。

| 総合計画 | | | 評価対象 | 担当課 | |
|---------------------|--------------------|------------------|------------------|---------------|-------|
| 大項目 (基本目標) | 中項目 (基本施策) | 小項目 (施策) | | | |
| 01 安全で快適に暮らせるまちづくり | 01 生活しやすいまちづくり | 01 土地利用 | 土地利用 | 都市整備課 | |
| | | 02 開発規制 | 開発規制 | 都市整備課 | |
| | | 03 地域地区 | 地域地区 | 都市整備課 | |
| | | 04 都市交通施設 | 都市交通施設 | 都市整備課 | |
| | | 05 住宅 | 住宅 | 都市整備課 | |
| | | 06 土地区画整理 | | | |
| | | 07 公園緑地 | 公園緑地 | 都市整備課 | |
| | | 08 水資源開発と水利用 | 水資源開発と水利用 | 水道課 | |
| | | 09 上水道及び簡易水道 | 上水道及び簡易水道 | 水道課 | |
| | | 10 下水道 | 下水道 | 下水道課 | |
| | | 11 道路 | 道路 | 都市整備課 | |
| | | 12 公共交通 | 公共交通 | 企画課 | |
| | | 13 港湾・漁港 | 港湾・漁港 | 都市整備課 | |
| | | 14 ごみ処理 | ごみ処理 | 環境課 | |
| | | 15 し尿処理 | し尿処理 | 環境課 | |
| | | 16 火葬場・墓地 | 火葬場・墓地 | 環境課 | |
| | | 17 情報通信 | 情報通信 | 企画課 | |
| | | 18 有線テレビ放送 | 有線テレビ放送 | 総務課 | |
| 02 自然と共生するまちづくり | 01 環境保全 | 01 環境保全 | 環境保全 | 環境課 | |
| | | 02 環境美化 | 環境美化 | 環境課 | |
| | | 03 省資源・省エネルギー | 省資源・省エネルギー | 環境課 | |
| | | 04 環境ISO | | | |
| 03 災害に強いまちづくり | 01 河川改修・砂防施設整備 | 01 河川改修・砂防施設整備 | 河川改修・砂防施設整備 | 都市整備課 | |
| | | 02 ため池・治山対策 | ため池・治山対策 | 農林水産課 | |
| | | 03 海岸整備 | 海岸整備 | 都市整備課 | |
| 04 安全で安心して暮らせるまちづくり | 01 交通安全 | 01 交通安全 | 交通安全 | 市民課 | |
| | | 02 消防・防災 | 消防・防災 | 総務課 | |
| | | 03 地域防犯 | 地域防犯 | 市民課 | |
| | | 04 国民保護 | 国民保護 | 総務課 | |
| | | 05 消費生活 | 消費生活 | 市民課 | |
| 02 健康でやさしさあふれるまちづくり | 01 やさしさあふれるまちづくり | 01 子育て支援 | 子育て支援 | こども課 | |
| | | 02 ひとり親家庭福祉 | ひとり親家庭福祉 | こども課 | |
| | | 03 障害者(児)福祉 | 障害者(児)福祉 | 社会福祉課 | |
| | | 04 高齢者福祉 | 高齢者福祉 | 介護福祉課 | |
| | | 05 介護保険 | 介護保険 | 介護福祉課 | |
| | | 06 年金 | 年金 | 市民課 | |
| | | 07 保険給付(国保) | 保険給付(国保) | 保健課 | |
| | | 08 老人保健(医療費給付) | 老人保健(医療費給付) | 保健課 | |
| | | 09 低所得者福祉 | 低所得者福祉 | 社会福祉課 | |
| | 02 健やかで生き生きしたまちづくり | 01 母子保健(歯科保健を含む) | 01 母子保健(歯科保健を含む) | 母子保健(歯科保健を含む) | 保健課 |
| | | | 02 成人保健(歯科保健を含む) | 成人保健(歯科保健を含む) | 保健課 |
| | | | 03 精神保健 | 精神保健 | 保健課 |
| | | | 04 歯科保健 | | |
| | | | 05 結核・じん肺 | 結核・じん肺 | 保健課 |
| | | | 06 健康づくり | 健康づくり | 保健課 |
| | | | 07 病院事業 | 病院事業 | 病院事務部 |

| 総合計画 | | | 評価対象 | 担当課 | |
|-------------------------|---------------------|---------------------|------------------|------------|----------|
| 大項目 (基本目標) | 中項目 (基本施策) | 小項目 (施策) | | | |
| 03 地域文化とひとが輝くまちづくり | 01 未来を支える人材を育むまちづくり | 01 幼稚園(施設整備を含む) | 幼稚園 | 学校教育課 | |
| | | 02 小・中学校(施設整備を含む) | 小・中学校 | 学校教育課 | |
| | | 03 高等学校(施設整備を含む) | 高等学校 | 教育総務課 | |
| | | 04 大学 | | | |
| | | 05 学校給食 | 学校給食 | 教育総務課 | |
| | | 06 人権教育 | 人権教育 | 生涯学習課 | |
| | | 07 施設整備 | | | |
| | 02 生きがいのあるまちづくり | 01 家庭教育 | 家庭教育 | 生涯学習課 | |
| | | 02 青少年教育 | 青少年教育 | 生涯学習課 | |
| | | 03 成人教育 | 成人教育 | 生涯学習課 | |
| | | 04 公民館 | 公民館 | 中央公民館 | |
| | | 05 図書館・視聴覚ライブラリー | 図書館・視聴覚ライブラリー | 図書館 | |
| | | 06 スポーツ・レクリエーション | スポーツ・レクリエーション | スポーツ振興室 | |
| | 03 歴史と文化の輝くまちづくり | 01 文化芸術の振興 | 文化芸術の振興 | 生涯学習課 | |
| | | 02 文化財の保存と活用 | 文化財の保存と活用 | 生涯学習課 | |
| 04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり | 01 豊かな食を支えるまちづくり | 01 農業 | 農業 | 農林水産課 | |
| | | 02 林業 | 林業 | 農林水産課 | |
| | | 03 水産業 | 水産業 | 農林水産課 | |
| | 02 起業と創造が支えるまちづくり | 01 企業誘致 | 企業誘致 | 商工観光課 | |
| | | 02 商業 | 商業 | 商工観光課 | |
| | | 03 工業 | 工業 | 商工観光課 | |
| | | 04 海運業 | 海運業 | 商工観光課 | |
| | | 05 勤労者福祉 | 勤労者福祉 | 商工観光課 | |
| | 03 個性あふれる観光のまちづくり | 01 観光 | 観光 | 商工観光課 | |
| | 05 市民主体の協働のまちづくり | 01 市民主体で進めるまちづくり | 01 広聴広報 | 広聴広報 | 総務課 |
| | | | 02 コミュニティ | コミュニティ | まちづくり推進課 |
| | | | 03 ボランティア・NPO | ボランティア・NPO | まちづくり推進課 |
| | | 02 ふれあい豊かなまちづくり | 01 地域間・国際交流 | 地域間・国際交流 | まちづくり推進課 |
| 02 男女共同参画社会の形成 | | | 男女共同参画社会の形成 | まちづくり推進課 | |
| 03 人権問題 | | | 人権問題 | まちづくり推進課 | |
| 06 健全で自立したまちづくり | 01 簡素で効率的な行財政運営 | 01 行政運営改革 | 行政運営改革 | 総務課 | |
| | | 02 情報公開 | 情報公開 | 総務課 | |
| | | 03 広域行政 | 広域行政 | 企画課 | |
| | | 04 人事管理 | 人事管理 | 総務課 | |
| | | 05 財政(税務関係) | 財政(税務関係) | 税務課 | |
| | | 06 財政(契約監理関係) | 財政(契約監理関係) | 契約監理室 | |
| | | 07 財政(財政関係) | 財政(財政関係) | 財政課 | |
| | | 08 財政(財産管理関係) | 財政(財産管理関係) | 財政課 | |
| | | 09 その他事務管理(議会) | その他事務管理(議会) | 議会事務局 | |
| | | 10 その他事務管理(企画) | その他事務管理(企画) | 企画課 | |
| | | 11 その他事務管理(統計) | その他事務管理(統計) | 企画課 | |
| | | 12 その他事務管理(財産管理) | その他事務管理(財産管理) | 財政課 | |
| | | 13 その他事務管理(秘書) | その他事務管理(秘書) | 総務課 | |
| | | 14 その他事務管理(総務庶務) | その他事務管理(総務庶務) | 総務課 | |
| | | 15 その他事務管理(職員) | その他事務管理(職員) | 総務課 | |
| | | 16 その他事務管理(戸籍等) | その他事務管理(戸籍等) | 市民課 | |
| | | 17 その他事務管理(出納) | その他事務管理(出納) | 出納室 | |
| | | 18 その他事務管理(教育委員会) | その他事務管理(教育委員会) | 学校教育課 | |
| | | 19 その他事務管理(選挙管理委員会) | その他事務管理(選挙管理委員会) | 選挙管理委員会 | |
| | | 20 その他事務管理(監査委員) | その他事務管理(監査委員) | 監査事務局 | |

2. 成果指標の設定について

施策評価の実施に当たっては、施策の上位目的である基本目標や基本施策、施策そのものの意図からキーワードを抽出し、それをもとに成果指標や参考指標を設定している。指標の設定状況などについては、以下のとおり。

(1) 成果指標の設定状況と計測している割合

評価を行った 91 の施策のうち 90 の施策が、何らかの成果指標が設定されていた。そのうち、成果指標の実績値を計測している施策は 89 施策となっている。

| 項目 | 平成24年度評価 (平成23年度決算分) | | 平成23年度 評価 |
|-----------------|-------------------------|-------|--------------|
| | 施策数 | 割合 | 割合 |
| 成果指標を設定している施策 | 90施策 | 98.9% | 98.9% |
| うち成果指標を計測している施策 | 89施策 | 98.9% | 100.0% |

注) 成果指標を計測している施策は、評価年度の実績値を計測しているかどうかで集計した。

(2) 成果指標の平成 23 年度目標の設定状況

90 施策のうち、平成 23 年度の目標を設定している施策は 88 施策 (97.8%) である。

評価を実施するに当たっては、評価年度の目標を達成できたかどうかを検証し、達成できていなければその理由を分析して次年度以降の事業構成や事業そのものの改善に結びつけることが重要である。

| 項目 | 平成24年度評価 (平成23年度決算分) | | 平成23年度 評価 |
|-------------------|-------------------------|-------|--------------|
| | 施策数 | 割合 | 割合 |
| 平成23年度目標を設定している施策 | 88施策 | 97.8% | 100.0% |

(3) 成果指標の平成 23 年度目標の達成状況

(2) であげた平成 23 年度の目標を設定している 88 施策のうち、実績値が目標値を達成している施策は 22 施策 (25.0%) となり、前年度と比較して 12.8 ポイント減少した。

前年度に目標を達成した施策は、次年度の目標は高く設定することとなるが、例年、目標を達成している施策の割合が低いことから、目標を達成できるような事業構成を検討すると同時に、設定した目標が適切なものかどうかを検証する必要がある。

| 項目 | 平成24年度評価 (平成23年度決算分) | | 平成23年度 評価 |
|--------------------|-------------------------|-------|--------------|
| | 施策数 | 割合 | 割合 |
| 平成23年度目標を達成している施策 | 22施策 | 25.0% | 37.8% |
| 平成23年度目標を達成していない施策 | 66施策 | 75.0% | 62.2% |
| 判定できなかった施策 | 0施策 | 0.0% | 0.0% |

(4) 成果指標の中・長期目標の設定状況

(1) であげた何らかの成果指標が設定されている 90 施策のうち、中期的な目標を設定した施策は 89 施策 (98.9%)、長期的な目標を設定した施策は 86 施策 (95.6%) となり、中・長期的目標の設定率ともに前年度と比較して、ほとんど変わっていない。

| 項目 | 平成24年度評価 (平成23年度決算分) | | 平成23年度 評価 |
|-----------------|-------------------------|-------|--------------|
| | 施策数 | 割合 | 割合 |
| 中期的な目標を設定している施策 | 89施策 | 98.9% | 97.8% |
| 長期的な目標を設定している施策 | 86施策 | 95.6% | 94.4% |

注) 中期的な目標とは平成 24 年度、長期的な目標とは平成 28 年度の目標値の設定状況をそれぞれ集計したものである。

(5) 成果指標一覧

以下は、施策ごとに設定された成果指標とその達成状況である。

成果指標名の設定に当り、施策の状況を反映していないものも散見されることから、施策の意図する成果達成に向けて、誰が見ても一目でわかる成果指標名の設定を心掛ける必要がある。

〈設定における留意事項〉

- ・ 測定可能であること
- ・ 成果を表現していること
- ・ 施策の目的を表現 (施策意図に合致) していること

| 評価対象施策 | 成果指標名 | 単位 | H21実績 | H22実績 | H23実績 | H23目標値 | 達成 | 参考指標数 |
|-------------|--------------------------------|----------------|---------|---------|---------|---------|----|-------|
| 土地利用 | 違反件数 | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 |
| 開発規制 | 相談回答率 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | 1 |
| 地域地区 | 都市計画審議会運営回数 | 回 | 0 | 3 | 1 | 1 | | 1 |
| 都市交通施設 | 都市計画道路整備率 | % | 12.3 | 12.3 | 17.6 | 13.0 | | 2 |
| 住宅 | 耐震診断割合 | % | 0.5 | 0.5 | 0.7 | 1.0 | | 2 |
| 公園緑地 | 市民1人当たり都市公園面積 | m ² | 6.1 | 6.1 | 6.1 | 7.0 | | 1 |
| 水資源開発と水利用 | 水質基準の適合率 | 項目 | 50 | 50 | 50 | 50 | | 3 |
| 上水道及び簡易水道 | 年間有収率 | % | 88.1 | 87.7 | 87.9 | 92.0 | | 3 |
| 下水道 | 整備率 | % | 71.6 | 72.0 | 73.5 | 80.0 | | 3 |
| 道路 | 道路舗装率 | % | 83.3 | 83.9 | 84.0 | 85.0 | | 2 |
| 公共交通 | 週1回以上バスを利用している市民の割合 | % | 2.7 | 3.8 | 3.3 | 6.7 | | 3 |
| 港湾・漁港 | 県工事実施率 | % | 33.0 | 40.0 | 63.6 | 80.0 | | 1 |
| ごみ処理 | ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合 | % | 89.1 | 87.9 | 85.0 | 90.0 | | 3 |
| し尿処理 | し尿投入量 | t | 11,585 | 11,413 | 11,347 | 11,000 | | 1 |
| 火葬場・墓地 | 市営墓地の区画数 | 区画 | 1,470 | 1,470 | 1,470 | 1,470 | | 2 |
| 情報通信 | 家のパソコンでインターネットを使っている割合 | % | 43.2 | 40.8 | 42.6 | 50.0 | | 2 |
| 有線テレビ放送 | CATV加入世帯率 | % | 82.4 | 82.3 | 82.5 | 85.0 | | 0 |
| 環境保全 | 騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合 | % | 20.7 | 18.8 | 22.2 | 20.0 | | 1 |
| 環境美化 | 不法投棄の件数 | 件 | 26 | 25 | 15 | 20 | | 2 |
| 省資源・省エネルギー | 地球温暖化防止のための行動に取り組んでいる市民の割合 | % | — | 46.0 | 38.0 | 52.0 | | 1 |
| 河川改修・砂防施設整備 | 河川改良箇所数 | 箇所 | 8 | 10 | 8 | 20 | | 2 |
| ため池・治山対策 | 危険ため池改修箇所数 | 箇所 | 31.9 | 32.2 | 32.5 | 32.5 | | 1 |
| 海岸整備 | 高潮対策事業（日生地区）進捗率 | % | — | 3.1 | 12.2 | 12.2 | | 0 |
| 交通安全 | 交通事故発生件数（人身） | 件 | 269 | 232 | 218 | 200 | | 3 |
| 消防・防災 | 消防・防災体制の充実について満足している市民の割合 | % | 33.8 | 33.1 | 27.5 | 50.0 | | 3 |
| 地域防犯 | 全刑法犯認知件数 | 件 | 343 | 358 | 316 | 400 | | 2 |
| 国民保護 | 国民保護計画の啓発回数 | 回 | 0 | 0 | 0 | 2 | | 1 |
| 消費生活 | この1年間に何らかの消費トラブルにあったことのある市民の割合 | % | 4.3 | 4.9 | 5.6 | 5.0 | | 3 |
| 子育て支援 | 安心して子どもを生み育てることができると感じている割合 | % | 17.4 | 20.2 | 16.2 | 20.0 | | 3 |
| ひとり親家庭福祉 | 相談件数（母子自立支援員） | 件 | 554 | 422 | 457 | 370 | | 2 |
| 障害者（児）福祉 | 就労支援人数 | 人 | 109 | 101 | 133 | 100 | | 3 |
| 高齢者福祉 | 高齢者が安心して生活できると感じている市民の割合 | % | 12.6 | 15.0 | 18.7 | 19.0 | | 3 |
| 介護保険 | 総合相談の件数 | 件 | 2,492 | 3,369 | 3,440 | 3,600 | | 3 |
| 年金 | 広報事業 | 回 | 8 | 8 | 10 | 10 | | 2 |
| 保険給付（国保） | 被保険者1件当たり医療給付費 | 円 | 257,279 | 277,756 | 286,150 | 230,000 | | 2 |
| 老人保健（医療費給付） | 後期高齢者医療制度の備前市負担分（1人当たり費用額） | 円 | 75,511 | 73,405 | 73,867 | 67,000 | | 1 |
| 低所得者福祉 | 家庭訪問件数 | 件 | 565 | 553 | 742 | 700 | | 2 |

| 評価対象施策 | 成果指標名 | 単位 | H21実績 | H22実績 | H23実績 | H23目標値 | 達成 | 参考指標数 |
|--------------------|--|----|--------|--------|--------|---------|----|-------|
| 母子保健 (歯科保健を含む) | 乳幼児健診受診率 | % | 84.8 | 84.4 | 86.0 | 90.0 | | 3 |
| 成人保健 (歯科保健を含む) | 自分の健康に気を付けている市民の割合 | % | 89.3 | 88.8 | 90.7 | 93.0 | | 3 |
| 精神保健 | 通院医療費支給率 | % | 91.3 | 91.5 | 91.7 | 100.0 | | 1 |
| 結核・じん肺 | 結核健診受診率 | % | 34.5 | 31.3 | 28.7 | 50.0 | | 1 |
| 健康づくり | 自分の健康に気を付けている市民の割合 | % | 89.3 | 88.8 | 90.7 | 93.0 | | 3 |
| 病院事業 | 100床当たりの医師数 | 人 | 9.7 | 10.2 | 11.3 | 12.0 | | 3 |
| 幼稚園 (施設整備を含む) | 4・5歳児就園率 | % | 98.9 | 98.0 | 96.8 | 100.0 | | 3 |
| 小・中学校 (施設整備を含む) | 子どもが楽しんで学校生活を送っていると 感じている市民の割合 | % | 28.7 | 31.3 | 29.3 | 40.0 | | 3 |
| 高等学校 (施設整備を含む) | 定員充足率 | % | 62.5 | 63.8 | 57.5 | 65.0 | | 1 |
| 学校給食 | 学校給食において食育が重要であると感じ ている市民の割合 | % | 67.3 | 63.0 | 62.7 | 75.0 | | 2 |
| 人権教育 | 地区人権教育推進委員会の事業開催回数 | 回 | 23 | 23 | 22 | 27 | | 1 |
| 家庭教育 | ときめきナビを家族で活用している世帯の 割合 | % | 34.0 | 35.0 | 48.0 | 50.0 | | 0 |
| 青少年教育 | 健全育成を目的とする講演会、懇談会への 参加者数 | 人 | 868 | 866 | 882 | 1,000 | | 1 |
| 成人教育 | 自発的な学習に取り組んだり趣味の会や サークル活動に参加している市民の割合 | % | 34.9 | 32.3 | 30.6 | 35.0 | | 1 |
| 公民館 | 公民館の利用者数 | 人 | 80,938 | 84,467 | 86,533 | 100,000 | | 3 |
| 図書館・視聴覚ライ ブラリー | 1人あたりの貸し出し冊数 | 冊 | 3.1 | 3.1 | 3.0 | 3.5 | | 2 |
| スポーツ・レクリ エーション | スポーツを定期的(週1回以上)にしている 市民の割合 | % | 42.4 | 42.7 | 40.7 | 50.0 | | 3 |
| 文化芸術の振興 | 岡山県子ども備前焼作品展応募者数 | 人 | — | 779 | 566 | 1,000 | | 3 |
| 文化財の保存と活用 | 世界遺産シンポジウム参加者数 | 人 | 240 | 160 | 194 | 200 | | 1 |
| 農 業 | 有害鳥獣による農作物被害面積 | a | 723 | 723 | 511 | 200 | | 1 |
| 林 業 | 林道整備延長 | m | 529 | 136 | 120 | 120 | | 1 |
| 水産業 | 漁獲高 | t | 269 | 229 | 286 | 300 | | 2 |
| 企業誘致 | 企業誘致件数 | 件 | 1 | 2 | 0 | 2 | | 2 |
| 商 業 | 地域振興活性化事業イベント開催による来 場者数 | 千人 | 107 | 85 | 92 | 124 | | 2 |
| 工 業 | 岡山セラミックセンターにおける検査件 数 | 件 | 9,240 | 10,703 | 12,187 | 10,000 | | 1 |
| 海運業 | 日生地区海運組合員数 | 社 | 75 | 71 | 69 | 85 | | 0 |
| 勤労者福祉 | 勤労者施設の利用者数 | 人 | 57,309 | 56,805 | 50,228 | 60,000 | | 2 |
| 観 光 | 観光客数(県:観光客動態調査) | 千人 | 925 | 915 | 875 | 1,000 | | 2 |
| 広聴広報 | 「広報びぜん」を読んでいる市民の割合 | % | 85.5 | 84.1 | 81.3 | 90.0 | | 0 |
| コミュニティ | コミュニティ助成団体数 | 団体 | 4 | 7 | 2 | 6 | | 2 |
| ボランティア・NP O | この1年で何らかのボランティア活動を行 ったことのある市民の割合 | % | 38.0 | 32.0 | 29.9 | 45.0 | | 1 |
| 地域間・国際交流 | 八塔寺国際交流ヴィラ利用者数 | 人 | 1,028 | 618 | 384 | 850 | | 2 |
| 男女共同参画社会の 形成 | きらめきフェスタ参加者数 | 人 | 550 | 550 | 532 | 790 | | 3 |
| 人権問題 | 人権教育・啓発研修会参加者数 | 人 | 75 | 140 | 119 | 200 | | 3 |
| 行政運営改革 | 施策評価の成果指標目標達成率 | % | 27.8 | 37.8 | 24.2 | 40.0 | | 3 |
| 情報公開 | 市の情報公開が進んでいると感じている市 民の割合 | % | 13.4 | 15.5 | 15.1 | 50.0 | | 2 |

| 評価対象施策 | 成果指標名 | 単位 | H21実績 | H22実績 | H23実績 | H23目標値 | 達成 | 参考指標数 |
|----------------------|-------------------------|----|-------|-------|-------|--------|----|-------|
| 広域行政 | 圏域バスの利用者数 | 人 | — | — | 309 | — | — | 3 |
| 人事管理 | 人口千人当たり職員数（普通会計） | 人 | 10.0 | 9.8 | 9.6 | 10.0 | | 1 |
| 財政 (税務関係) | 市税収納率 | % | 91.5 | 91.3 | 91.4 | 91.9 | | 3 |
| 財政 (契約監理関係) | 入札契約事務1件当たりの時間 | 時間 | 10.9 | 11.5 | 12.9 | 7.0 | | 0 |
| 財政 (財政関係) | 経常収支比率 | % | 95.0 | 89.3 | 93.8 | 90.0 | | 2 |
| 財政 (財産管理関係) | 財産収入対財産管理費用比率 | % | 97.6 | 97.3 | 108.1 | 80.0 | | 1 |
| その他事務管理 (議会) | 本会議、委員会情報の発信量向上 | % | 52.2 | 55.3 | 53.6 | 65.0 | | 3 |
| その他事務管理 (企画) | 過疎計画実施事業数 | 事業 | 8 | 9 | 9 | 12 | | 1 |
| その他事務管理 (統計) | — | — | — | — | — | — | — | 0 |
| その他事務管理 (財産管理) | 本庁舎維持管理コスト（㎡当たり） | 円 | 4,608 | 3,708 | 3,927 | 4,000 | | 2 |
| その他事務管理 (秘書) | 被表彰者数 | 人 | 3 | 2 | 3 | 1 | | 0 |
| その他事務管理 (総務庶務) | 例規1件の整備に要する時間 | 時間 | 5.5 | 4.3 | 5.1 | 4.5 | | 2 |
| その他事務管理 (職員) | 健康診断の受診率 | % | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 100.0 | | 1 |
| その他事務管理 (戸籍等) | 市の窓口での対応に満足している市民の割合 | % | 35.5 | 32.7 | 32.5 | 60.0 | | 3 |
| その他事務管理 (出納) | 振込相違率 | % | 1.40 | 0.62 | 0.56 | 0.6 | | 3 |
| その他事務管理 (教育委員会) | 教育委員会会議開催回数 | 回 | 17 | 17 | 18 | 12 | | 1 |
| その他事務管理 (選挙管理委員会) | 期日前投票における若年層（20歳台）の投票割合 | % | 9.1 | 8.4 | — | — | — | 3 |
| その他事務管理 (監査委員) | 定期監査の指摘事項に対する改善割合（加重） | % | — | 66.7 | 77.4 | 75.0 | | 3 |

(6) 参考指標の設定状況

91 施策のうち、成果指標とは別に参考指標を3つ設定し、施策の実績を把握しようと試みている施策が31 施策（34.1%）という結果になった。成果指標も含めると1つの施策につき平均2.9の指標が設定されていた（前年度平均2.8）。

参考指標の設定数は、前年度と比較すると2つ設定している施策は減少し、1つ設定している施策が増加している。

施策の実績を指標化するに当たって、1つで施策目的の達成状況を適切に示すことのできる指標を設定することは難しい。施策の状態を示すことができるような指標を様々な側面から複数設定し、その実績を把握することで、施策実施の成果を検証し、課題を発見するきっかけとすることが望ましい。

参考指標の設定状況は以下のとおりである。

| 項目 | 平成24年度評価 (平成23年度決算分) | | 平成23年度 評価 |
|-----------------|-------------------------|-------|--------------|
| | 施策数 | 割合 | 割合 |
| 参考指標を3つ設定している施策 | 31施策 | 34.1% | 34.0% |
| 参考指標を2つ設定している施策 | 25施策 | 27.5% | 31.9% |
| 参考指標を1つ設定している施策 | 27施策 | 29.7% | 25.3% |
| 参考指標を設定していない施策 | 8施策 | 8.8% | 8.8% |

3. 政策体系別事業費

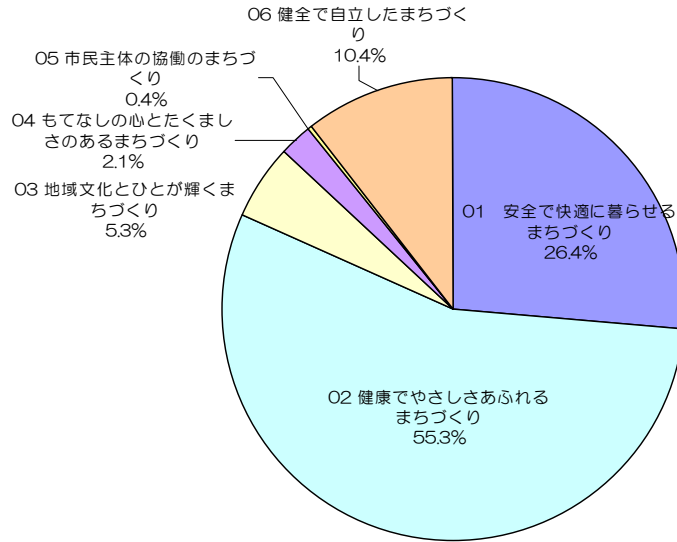
施策評価シートに記載された事業費を政策体系（大項目・中項目別）に沿ってまとめたものが次の表である。

| 総合計画 | | 平成24年度評価 (平成23年度決算分) | 内訳 | | 平成23年度評価 | 内訳 | |
|---------------|----------------------|-------------------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|
| 大項目 (基本目標) | 中項目 (基本施策) | | 直接事業費 | 人件費 | | 直接事業費 | 人件費 |
| 01 | 安全で快適に暮らせるまちづくり | 8,172,501 | 7,501,086 | 671,415 | 8,194,503 | 7,539,970 | 654,533 |
| | 01 生活しやすいまちづくり | 7,036,443 | 6,475,985 | 560,458 | 7,056,109 | 6,503,038 | 553,071 |
| | 02 自然と共生するまちづくり | 161,145 | 104,928 | 56,217 | 138,414 | 88,257 | 50,157 |
| | 03 災害に強いまちづくり | 122,512 | 109,761 | 12,751 | 179,219 | 166,766 | 12,453 |
| | 04 安全で安心して暮らせるまちづくり | 852,401 | 810,412 | 41,989 | 820,761 | 781,909 | 38,852 |
| 02 | 健康でやさしさあふれるまちづくり | 17,131,445 | 14,252,030 | 2,879,414 | 16,351,502 | 13,390,586 | 2,960,916 |
| | 01 やさしさあふれるまちづくり | 12,190,401 | 11,495,432 | 684,969 | 11,359,803 | 10,670,053 | 689,750 |
| | 02 健やかで生き生きしたまちづくり | 4,951,044 | 2,756,598 | 2,194,445 | 4,991,699 | 2,720,533 | 2,271,166 |
| 03 | 地域文化とひとが輝くまちづくり | 1,647,984 | 1,346,910 | 301,074 | 1,999,549 | 1,697,547 | 302,002 |
| | 01 未来を支える人材を育むまちづくり | 1,124,145 | 968,850 | 155,295 | 1,561,380 | 1,391,247 | 170,133 |
| | 02 生きがいのあるまちづくり | 447,423 | 340,657 | 106,766 | 372,492 | 268,497 | 103,995 |
| | 03 歴史と文化の輝くまちづくり | 76,416 | 37,403 | 39,013 | 65,677 | 37,803 | 27,874 |
| 04 | もてなしの心とたくましさのあるまちづくり | 661,120 | 526,773 | 134,347 | 591,179 | 457,796 | 133,383 |
| | 01 豊かな食を支えるまちづくり | 403,158 | 316,701 | 86,457 | 323,135 | 235,855 | 87,280 |
| | 02 起業と創造を支えるまちづくり | 152,737 | 131,547 | 21,190 | 158,102 | 136,808 | 21,294 |
| | 03 個性あふれる観光のまちづくり | 105,225 | 78,525 | 26,700 | 109,942 | 85,133 | 24,809 |
| 05 | 市民主体の協働のまちづくり | 133,618 | 76,003 | 57,615 | 128,078 | 69,411 | 58,667 |
| | 01 市民主体で進めるまちづくり | 95,874 | 67,195 | 28,679 | 86,334 | 60,686 | 25,648 |
| | 02 ふれあい豊かなまちづくり | 37,744 | 8,808 | 28,936 | 41,744 | 8,725 | 33,019 |
| 06 | 健全で自立したまちづくり | 3,228,001 | 2,623,022 | 604,979 | 3,242,706 | 2,621,754 | 620,952 |
| | 01 簡素で効率的な行財政運営 | 3,228,001 | 2,623,022 | 604,979 | 3,242,706 | 2,621,754 | 620,952 |
| 合 計 | | 30,974,668 | 26,325,824 | 4,648,844 | 30,507,517 | 25,777,064 | 4,730,453 |

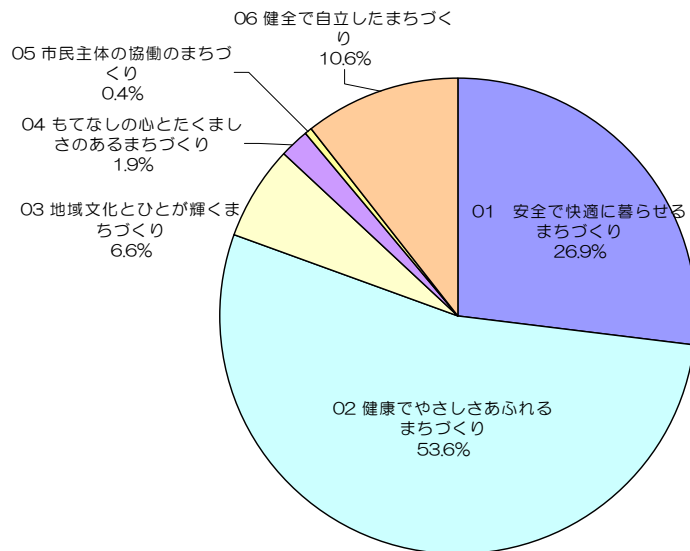
大項目ごとに事業費を見ると、「健康でやさしさあふれるまちづくり」が全体のおよそ 55.3% を占めていることがわかる。そのうち「やさしさあふれるまちづくり」が 121 億 80 百万円 (71.1%) となっており、主な内訳は「保険給付 (国保) (49 億 83 百万円)」「介護保険 (33 億 15 百万円)」などである。

次いで「安全で快適に暮らせるまちづくり」が 81 億 73 百万円 (26.4%) を占めている。そのうち「生活しやすいまちづくり」が 70 億 36 百万円 (86.1%) となっており、その中では 30 億 76 百万円 (43.7%) が「下水道事業」となっている。

基本目標別事業割合
平成24年度評価(平成23年度決算分)



基本目標別事業割合
平成23年度評価(平成22年度決算分)



4. 施策の評価結果

以下は施策の評価結果（二次）一覧である。

| 総合計画 | | | 成果指標 の妥当性 | 事業構成 の妥当性 | 施策の 有効性 | 基本施策 への 貢献度 | |
|------------------------|-------------------------|----------------------|------------------|--------------|------------|-------------------|---|
| 大項目 (基本目標) | 中項目 (基本施策) | 小項目 (施策) | | | | | |
| 01 安全で快適に暮 らせるまちづくり | 01 生活しやすいまち づくり | 01 土地利用 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 02 開発規制 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 03 地域地区 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 04 都市交通施設 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 05 住宅 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 06 土地区画整理 | — | — | — | — | |
| | | 07 公園緑地 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 08 水資源開発と水利用 | 4 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 09 上水道及び簡易水道 | 3 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 10 下水道 | 4 | 4 | 4 | 3 | |
| | | 11 道路 | 4 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 12 公共交通 | 3 | 3 | 4 | 4 | |
| | | 13 港湾・漁港 | 3 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 14 ごみ処理 | 4 | 3 | 4 | 4 | |
| | | 15 し尿処理 | 4 | 3 | 4 | 4 | |
| | | 16 火葬場・墓地 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 17 情報通信 | 4 | 4 | 4 | 3 | |
| | | 18 有線テレビ放送 | 3 | 3 | 2 | 2 | |
| | 02 自然と共生するま ちづくり | 01 環境保全 | 3 | 3 | 4 | 3 | |
| | | 02 環境美化 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 03 省資源・省エネルギー | 3 | 3 | 4 | 3 | |
| | | 04 環境ISO | — | — | — | — | |
| | 03 災害に強いまちづ くり | 01 河川改修・砂防施設整備 | 3 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 02 ため池・治山対策 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 03 海岸整備 | 3 | 3 | 4 | 4 | |
| | 04 安全で安心して暮 らせるまちづくり | 01 交通安全 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 02 消防・防災 | 3 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 03 地域防犯 | 3 | 3 | 4 | 3 | |
| | | 04 国民保護 | 3 | 3 | 2 | 2 | |
| | | 05 消費生活 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | 02 健康でやさしさあ ふれるまちづくり | 01 やさしさあふれる まちづくり | 01 子育て支援 | 4 | 3 | 3 | 5 |
| | | | 02 ひとり親家庭福祉 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 03 障害者(児)福祉 | | | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 04 高齢者福祉 | | | 4 | 3 | 3 | 4 | |
| 05 介護保険 | | | 3 | 3 | 3 | 4 | |
| 06 年金 | | | 3 | 3 | 2 | 3 | |
| 07 保険給付(国保) | | | 4 | 4 | 4 | 3 | |
| 08 老人保健(医療費給付) | | | 4 | 4 | 3 | 3 | |
| 09 低所得者福祉 | | | 3 | 4 | 4 | 3 | |
| 02 健やかで生き生き したまちづくり | | | 01 母子保健(歯科保健を含む) | 4 | 4 | 4 | 3 |
| | | 02 成人保健(歯科保健を含む) | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 03 精神保健 | 3 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 04 歯科保健 | — | — | — | — | |
| | | 05 結核・じん肺 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 06 健康づくり | 4 | 4 | 4 | 3 | |
| | | 07 病院事業 | 3 | 3 | 4 | 4 | |

| 総合計画 | | | 成果指標 の妥当性 | 事業構成 の妥当性 | 施策の 有効性 | 基本施策 への 貢献度 | |
|------------------------|---------------------------------|----------------------|---------------|--------------|------------|-------------------|----|
| 大項目 (基本目標) | 中項目 (基本施策) | 小項目 (施策) | | | | | |
| 03 地域文化とひとが 輝くまちづくり | 01 未来を支える人材 を育むまちづくり | 01 幼稚園(施設整備を含む) | 4 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 02 小・中学校(施設整備を含む) | 3 | 5 | 4 | 5 | |
| | | 03 高等学校(施設整備を含む) | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 04 大学 | — | — | — | — | |
| | | 05 学校給食 | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 06 人権教育 | 3 | 3 | 4 | 3 | |
| | | 07 施設整備 | — | — | — | — | |
| | 02 生きがいのあるま ちづくり | 01 家庭教育 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 02 青少年教育 | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 03 成人教育 | 4 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 04 公民館 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 05 図書館・視聴覚ライブラリー | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 06 スポーツ・レクリエーション | 3 | 3 | 4 | 3 | |
| | 03 歴史と文化の輝く まちづくり | 01 文化芸術の振興 | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 02 文化財の保存と活用 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | 04 もてなしの心とたく ましさのあるまち づくり | 01 豊かな食を支える まちづくり | 01 農業 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | | 02 林業 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | | 03 水産業 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 02 起業と創造が支え るまちづくり | | 01 企業誘致 | 3 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 02 商業 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 03 工業 | 3 | 4 | 3 | 3 | |
| | | 04 海運業 | 3 | 4 | 3 | 3 | |
| | | 05 勤労者福祉 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 03 個性あふれる観光 のまちづくり | | 01 観光 | 3 | 3 | 4 | 4 | |
| 05 市民主体の協働の まちづくり | | 01 市民主体で進める まちづくり | 01 広聴広報 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| | | | 02 コミュニティ | 3 | 3 | 4 | 4 |
| | | | 03 ボランティア・NPO | 3 | 2 | 2 | 3 |
| | 02 ふれあい豊かなま ちづくり | 01 地域間・国際交流 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 02 男女共同参画社会の形成 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 03 人権問題 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 06 健全で自立したま ちづくり | 01 簡素で効率的な行 政運営 | 01 行政運営改革 | 4 | 4 | 3 | 5 | |
| | | 02 情報公開 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 03 広域行政 | 3 | 3 | 2 | 3 | |
| | | 04 人事管理 | 3 | 4 | 3 | 5 | |
| | | 05 財政(税務関係) | 4 | 4 | 3 | 4 | |
| | | 06 財政(契約監理関係) | 4 | 4 | 3 | 3 | |
| | | 07 財政(財政関係) | 5 | 4 | 3 | 4 | |
| | | 08 財政(財産管理関係) | 4 | 4 | 3 | 3 | |
| | | 09 その他事務管理(議会) | 3 | 4 | 3 | 4 | |
| | | 10 その他事務管理(企画) | 3 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 11 その他事務管理(統計) | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 12 その他事務管理(財産管理) | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 13 その他事務管理(秘書) | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 14 その他事務管理(総務庶務) | 3 | 3 | 3 | 4 | |
| | | 15 その他事務管理(職員) | 4 | 3 | 4 | 3 | |
| | | 16 その他事務管理(戸籍等) | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 17 その他事務管理(出納) | 5 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 18 その他事務管理(教育委員会) | 4 | 4 | 3 | 5 | |
| | | 19 その他事務管理(選挙管理委員会) | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| | | 20 その他事務管理(監査委員) | 3 | 4 | 3 | 3 | |
| 成果指標の妥当性 | 5:非常に高い | 施策への貢献度 | 5:高い | 2 | 1 | 0 | 5 |
| 事業構成の妥当性 | 4:高い | | 4:やや高い | 33 | 26 | 28 | 30 |
| 施策の有効性 | 3:どちらともいえない | | 3:中立 | 56 | 63 | 58 | 54 |
| | 2:低い | | 2:やや低い | 0 | 1 | 5 | 2 |
| | 1:非常に低い | | 1:低い | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 空白等その他 | | 空白等その他 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 計 | | | 96 | 96 | 96 | 96 | |

(1) 成果指標の妥当性

「指標が施策の目的・成果を表現しているか」については、23年度評価と同様に「3：どちらともいえない」が最も多いという結果になった。

評価の構成比率は、前年度と比較して、ほとんど変わっていない。

成果指標がその施策を評価するのに適切なものでなければ、施策の将来ビジョンが不明確となり、施策が本来と違った方向に進んでしまう。成果指標の妥当性の低い（「3：どちらともいえない」も含む）施策については、施策の目的を明確に表現した指標に設定し直す必要がある。

| 評 価 | H24年度評価（H23年度決算） | | H23年度評価（H22年度決算） | |
|-------------|------------------|--------|------------------|--------|
| | 数 | 率 | 数 | 率 |
| 5：非常に高い | 2施策 | 2.2% | 2施策 | 2.2% |
| 4：高い | 33施策 | 36.3% | 35施策 | 38.5% |
| 3：どちらともいえない | 56施策 | 61.5% | 52施策 | 57.1% |
| 2：低い | 0施策 | 0.0% | 2施策 | 2.2% |
| 1：非常に低い | 0施策 | 0.0% | 0施策 | 0.0% |
| 合 計 | 91施策 | 100.0% | 91施策 | 100.0% |

(2) 事業構成の妥当性

「施策を構成する事務事業が施策目的を達成するために適当なものであるか」については、23年度評価と同様に「3：どちらともいえない」が最も多いという結果になった。

評価の構成比率は、前年度と比較して、ほとんど変わっていない。

| 評 価 | H24年度評価（H23年度決算） | | H23年度評価（H22年度決算） | |
|-------------|------------------|--------|------------------|--------|
| | 数 | 率 | 数 | 率 |
| 5：非常に高い | 1施策 | 1.1% | 2施策 | 2.2% |
| 4：高い | 26施策 | 28.6% | 24施策 | 26.4% |
| 3：どちらともいえない | 63施策 | 69.2% | 64施策 | 70.3% |
| 2：低い | 1施策 | 1.1% | 1施策 | 1.1% |
| 1：非常に低い | 0施策 | 0.0% | 0施策 | 0.0% |
| 合 計 | 91施策 | 100.0% | 91施策 | 100.0% |

(3) 施策の有効性

「評価年度の成果指標や参考指標の目標達成状況、中・長期（H24・28）の達成見込み（達成率）」については、23年度評価と同様に「3：どちらともいえない」が最も多いという結果になった。

評価の構成比率は、前年度と比較して、ほとんど変わっていない。

| 評 価 | H24年度評価（H23年度決算） | | H23年度評価（H22年度決算） | |
|-------------|------------------|--------|------------------|--------|
| | 施策数 | 割合 | 施策数 | 割合 |
| 5：非常に高い | 0施策 | 0.0% | 0施策 | 0.0% |
| 4：高い | 28施策 | 30.8% | 27施策 | 29.7% |
| 3：どちらともいえない | 58施策 | 63.7% | 60施策 | 65.9% |
| 2：低い | 5施策 | 5.5% | 4施策 | 4.4% |
| 1：非常に低い | 0施策 | 0.0% | 0施策 | 0.0% |
| 合 計 | 91施策 | 100.0% | 91施策 | 100.0% |

(4) 基本施策への貢献度

施策二次評価では、評価施策の政策（基本施策）に対する貢献度を判定した。その結果として、22年度評価と同様に「3：中立」が最も多い結果となった。

評価の構成比率は、前年度と比較して、ほとんど変わっていない。

| 評 価 | H24年度評価（H23年度決算） | | H23年度評価（H22年度決算） | |
|--------|------------------|--------|------------------|--------|
| | 施策数 | 割合 | 施策数 | 割合 |
| 5：高い | 5施策 | 5.5% | 3施策 | 3.3% |
| 4：やや高い | 30施策 | 33.0% | 31施策 | 34.1% |
| 3：中立 | 54施策 | 59.3% | 53施策 | 58.2% |
| 2：やや低い | 2施策 | 2.2% | 4施策 | 4.4% |
| 1：低い | 0施策 | 0.0% | 0施策 | 0.0% |
| 合 計 | 91施策 | 100.0% | 91施策 | 100.0% |

5. 行政評価を活用した今後の展開

本年度までの実施結果を踏まえ、来年度以降の実施に当たって以下のような改善・検討が必要と考えられます。

(1) 行政評価への市民参画

平成22年4月1日に施行された、備前市まちづくり基本条例により、備前市における行政評価の実施が必須とされました。そして、この中で行政評価への市民参画として外部評価制度の実施が要請されています。この外部評価の調査研究手段として、平成23年度からまちづくり市民講座「備前市の行政評価」を開催しており、受講生の意見・提言などをおして、将来設置予定の（仮称）備前市行政評価外部評価委員会の運営方法など方向性を探っています。この外部評価委員会は、平成26年度の設置を目指しており、平成25年度においても講座による検証を引き続き行います。

(2) 評価シートの精度向上

前述のまちづくり市民講座において、受講生の方から「説明不足」「指標の設定が不明確」「現状分析が不十分」「PDCAとなっていない」など評価シートについて様々な意見をいただきました。評価シートについては、市民主体の行政経営実現に向け、だれがみてもわかりやすいものでなければなりません。外部評価の本格導入に向け、これまで以上により適切でわかりやすい成果指標や目標値の設定に努めるなど、評価シートの内容や表現などの工夫を行っていく必要があります。市民に対する説明責任を果たしていくためにも、評価シートの精度向上に引き続き努めていきます。

(3) 施設評価の有効活用

事務事業評価の一環として施設評価を実施しています。これにより合併効果の発現が一番遅れている施設運営の見直し（統廃合等）に活用することが望めます。さらに、本市には老朽化の目立つ施設が多く、今後の修繕計画に活かしていくことも重要課題です。また、受益と負担の明確化を行い、適正な受益者負担率を設定することが望めます。受益者負担の適正化に伴う施設使用料の改正については、サービス内容の変化や経費の増加等を考慮しながら、原則3年に一度見直すこととしています。

(4) 職員の意識改革

現在の非常に厳しい財政状況の中、限られた経営資源で市民満足度を向上させるためには「選択と集中」による事務事業の見直しや経費削減が必要であり、不断の改革・改善なくしては到底不可能です。改革・改善には現場での気づきや改善プロセスが不可欠であり、各部・課が主体となって行政評価システムを活用した事業選択のプロセスへと改革していく必要があります。そのためにも、幅広い職員が市民の視点で考え、目的・成果・コスト重視で行動しなければならないことから、職員のスキルアップや新たなモチベーションの喚起を図るため、各種研修会・説明会の開催を積極的に展開していきます。

(5) 評価結果を活用した行政経営への転換

いまだ「やらされ感」を持って行政評価に取り組んでいる職員も少なくありません。事務事業評価や施策評価が行政運営にフィードバックされてこそ、行政経営の中で行政評価が生きてきます。行政評価を通じて「選択と集中」による効率の良い行政運営を実施していくことが最終的な目的ではありませんが、こうした仕組みづくりがなければ、限られた経営資源で市の最上位計画である総合計画を実現すること不可能です。

特に予算編成においては、次のような点に留意しながら、引き続き各事業への予算配分、調整権限の各部への移譲（行財政改革プラン取組事項）を進めていきます。

- ① 経営戦略会議において、財源見通しや施策評価結果を踏まえた翌年度の経営方針を明示した上で、まず、枠外予算、地方債発行枠、基金取崩し枠、枠配予算などを決定し、枠配予算が遵守できる仕組みづくりの構築を目指します。
- ② 予算の配分にあたっては、施策評価や事前評価などの行政評価ツールを十分に活用した上で、臨時・経常などの分析を基にした質の高い予算配分を目指すとともに、予算編成過程の積極的な公表を進めます。

さらに、決算時の主要施策の成果を説明する資料として議会への施策評価シートの提出、日報管理による業務量報告、行政評価と目標管理制度との連携についても引き続き継続し、施策目標の達成について責任を持たせ、経営の根幹をなす予算・組織・人事について、明確な経営戦略に沿った行政経営を目指していきます。

(6) 内部統制システムの導入

内部統制とは、「発生しうる不正や誤謬を未然に防ぐ取組（リスクマネジメント）」のことです。本市では、これまで整備されていなかった内部統制のシステムを構築するため、平成22年度に内部統制基本方針を策定しました。そして、23年度から24年度の2年間にかけてシステムの本格導入に向け、その前段となる業務フローの作成を全部署において行いました。今後は、作成された業務フローを利用して、発生の可能性があるリスクを洗い出し、そのリスクへの対処方法の見直しを行うことで、不正と誤謬の防止に努め、市民から信頼される市役所を目指します。

平成25年度 スケジュール

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|

